

CASBEE 広島 2016年版
(仮称)ヴェルディ吉島新町一丁目

■使用評価マニュアル CASBEE 広島 2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄			評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質									3.1
Q1 室内環境						0.40		-	3.4
1 音環境					3.0	0.15	3.2	1.00	3.1
1.1 室内騒音レベル					3.0	0.50	3.0	0.50	
1.2 遮音					3.0	0.50	3.4	0.50	
1 開口部遮音性能					3.0	1.00	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能					-	-	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		コンクリート躯体厚さ200mmを確保している。			-	-	4.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		L-45等級の防音タイプフローリングを採用している。			-	-	4.0	0.20	
1.3 吸音					-	-	-	-	
2 温熱環境					2.0	0.35	3.0	1.00	2.8
2.1 室温制御					3.0	0.50	3.0	1.00	
1 室温					3.0	0.63	-	-	
2 外皮性能					3.0	0.38	3.0	1.00	
3 ゾーン別制御性					3.0	-	-	-	
2.2 湿度制御					1.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式					1.0	0.30	-	-	
3 光・視環境					3.3	0.25	3.5	1.00	3.4
3.1 昼光利用					4.2	0.30	4.0	0.50	
1 昼光率		居室に対して開口の大きいサッシを採用している。			5.0	0.60	5.0	0.50	
2 方位別開口					-	-	3.0	0.30	
3 昼光利用設備					3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策					3.0	0.30	3.0	0.50	
1 昼光制御					3.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度					3.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御					3.0	0.25	-	-	
4 空気環境					4.2	0.25	4.2	1.00	4.2
4.1 発生源対策					5.0	0.60	5.0	0.63	
1 化学汚染物質		住戸内建築材料は、F☆☆☆☆を採用している。			5.0	1.00	5.0	1.00	
4.2 換気					3.0	0.40	3.0	0.38	
1 換気量					3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能					3.0	-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮					3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理					-	-	-	-	
1 CO ₂ の監視					3.0	-	-	-	
2 喫煙の制御					3.0	-	-	-	
Q2 サービス性能					-	0.30	-	-	3.3
1 機能性					3.1	0.40	4.2	1.00	4.0
1.1 機能性・使いやすさ					1.0	0.40	5.0	0.60	
1 広さ・収納性					3.0	-	3.0	-	
2 高度情報通信設備対応		回線はフレッツ光ネクスト集を採用している。			3.0	-	5.0	1.00	
3 バリアフリー計画					1.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性					5.0	0.30	3.0	0.40	
1 広さ感・景観					3.0	-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース					3.0	-	-	-	
3 内装計画		共用部は美観に努め、住戸内は利便性を高めている。			5.0	1.00	3.0	0.50	
1.3 維持管理					4.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		清掃しやすい材料で仕上げている。			4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		清掃しやすい建物計画としている。			4.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性					3.0	0.30	-	-	3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振					3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)					3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能					3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数					3.0	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数					3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔					3.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔					3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔					3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔					3.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔					3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性					3.0	0.20	-	-	
1 空調・換気設備					3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備					3.0	0.20	-	-	
3 電気設備					3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法					3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備					3.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性		3.0	0.30	2.8	1.00	2.8
3.1 空間のゆとり		-	-	2.6	-	0.50
1 階高のゆとり		3.0	-	3.0	-	0.60
2 空間の形状・自由さ		3.0	-	2.0	-	0.40
3.2 荷重のゆとり		3.0	-	3.0	-	0.50
3.3 設備の更新性		3.0	1.00	-	-	-
1 空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	-
2 給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	-
3 電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	-
4 通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	-
5 設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	-
6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	2.6
1 生物環境の保全と創出		1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮	景観の届出基準を満たすよう色調などに配慮している。	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮		2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	2.9
LR1 エネルギー		-	0.40	-	-	3.2
1 建物外皮の熱負荷抑制		3.0	0.20	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用		3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化	[BEI][BEIm] = 0.96	3.4	0.50	-	-	3.4
4 効率的運用		3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価		-	-	-	-	-
4.1 モニタリング		3.0	-	-	-	-
4.2 運用管理体制		3.0	-	-	-	-
集合住宅の評価		3.0	1.00	-	-	-
4.1 モニタリング		3.0	0.50	-	-	-
4.2 運用管理体制		3.0	0.50	-	-	-
LR2 資源・マテリアル		-	0.30	-	-	2.8
1 水資源保護		3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水	設備機器は節水用、節水機能付のものを採用している。	4.0	0.40	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	-
1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減		2.4	0.60	-	-	2.4
2.1 材料使用量の削減		2.0	0.10	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.20	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.20	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避		3.7	0.20	-	-	3.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避		4.0	0.70	-	-	-
1 消火剤		-	-	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)	断熱材はODP=0かつGWPが低い発泡剤を用いたものを使用してい	5.0	0.50	-	-	-
3 冷媒		3.0	0.50	-	-	-
LR3 敷地外環境		-	0.30	-	-	2.5
1 地球温暖化への配慮	CO2計算による。	3.3	0.33	-	-	3.3
2 地域環境への配慮		2.0	0.33	-	-	2.0
2.1 大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善		1.0	0.50	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.2	0.25	-	-	-
1 雨水排水負荷低減	雨水貯留槽を設置している。	4.0	0.25	-	-	-
2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	-
3 交通負荷抑制	駐輪・駐車台数は十分確保し、出入口2か所、車寄せを設けている。	4.0	0.25	-	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25	-	-	-
3 周辺環境への配慮		2.3	0.33	-	-	2.3
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	-
1 騒音		3.0	0.33	-	-	-
2 振動		3.0	0.33	-	-	-
3 悪臭		3.0	0.33	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		1.6	0.40	-	-	-
1 風害の抑制		1.0	0.70	-	-	-
2 砂塵の抑制		3.0	-	-	-	-
3 日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	-
3.3 光害の抑制		2.3	0.20	-	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		2.0	0.70	-	-	-
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	-